

うた ひびきの詩だより

2007. 5 1
毎月発行 No.74
この便りはご注文の品と
いっしょにお届けします

若葉が茂って、景色が変わってきました。この間まで枯れ枝を透かして見通せた遠くの道が見えなくなって、毎年のことながら、新緑の勢いに圧倒されます。

三びきのやぎのがらがらどん



絵本に関心のある人で、「三びきのやぎのがらがらどん」を知らないという人にも、好きじゃないという人にもあったことがありません。子どもたちにとっても、最もなじみの深い一冊のひとつでしょう。幼稚園時代には、ペープサートや人形劇などいろいろな形で親しんでいました。初版は何年かしらと見てみたら、1965年でした。え〜私が小さい頃にもあったのね〜と、子ども時代に出会えなかったことが残念でした。

子どもたちへの読みかきせを夫に代わってもらおうと、「おれだ！大きいやぎのがらがらどんだ！」と迫力満点でやってくれるので、おやすみ前のことでもあり「何もそこまで・・・」と思うほどでした。でも、口調のよい文章に引き込まれて、気分が乗ってしまうのはよくわかります。大人にとっても、「読んで！」と持ってこられるとうれしい一冊でした。

スウェーデンひつじの詩舎のやぎたちは、まず、骨格を丈夫な針金入りの麻縄で作り、そこに羊毛で肉付けしていきます。途中はあれれ、いぬ？うま？ひつじ？とちょっと不安になりますが、外側にフィンウールの巻き毛をつけて、仕上げに蔓でできた角とフェルトのひづめをつければ、野性味あふれる立派なやぎたちの誕生です。きつと、お話の世界をひろげてくれることでしょう。(三びきのやぎのがらがらどんのキット・3 匹分:2800円/絵本「三びきのやぎのがらがらどん」・福音館書店:1050円)



ひつじ よーもーやまばなし

—その4—

「今回は、シルクの話」

先日、長野県の岡谷市を訪ねてきました。日本では、明治、大正、昭和の時代に輸出産業としてもかなりの実績を残した生糸について少しお話しします。

長野県南部にて大切に育てられたカイコから繰られた生糸は、岡谷を発し横浜港より世界へ輸出されていました。日本の伝統文化をこのシルクロードに沿って遡り、そしてその源流にある養蚕の産地を訪ねてきました。

平成の時代に入り、製糸業は衰退し、世界に誇る美しい日本の和装文化も、その高価な値段、生活様式の変化、着付け・洗濯などの管理の難しさ、などの理由で減少傾向にあることはとても寂しく思います。

そんな環境の中、カイコを育てる農家で後継者不足で日本の原風景が失われていくことが残念でなりません。

卵から大切に育てられた繭を製糸工場にて生糸にし、京都西陣などで美しい着物に生まれ変わり、未来に伝える大切な財産として残していける環境の確保が望まれます。

ひつじおじさん 日比野祐三

作品展のおしらせ

5月3日(木)～4日(金) ぱふ宇治店 宇治市宇治妙楽 31 担当:中野久仁子

TEL:0774-24-4321

6月9日(土)～17日(日) Hands on Toy's キンダーリース

(元 Hands on Toy's ぱふ小樽店)

小樽築港1-1-1 ウイングベイ小樽1番街3F

担当:村本泰江

TEL:0134-24-1031

ぱたぼん通信

大切につくられたもの

子どもの頃(郷里は長野県です)遊ぶ時間が短くなって卵か豆腐のおつかいには喜んで行きました。卵はお肉やさんのお肉とは別のガラスケースの粉殻の上に並んでいました。それがかわいくて大好きで



した。「もう少し見ていい？」そう聞くとお店の人は「どうぞ。でも遅くならないようにね。」といつも優しい笑顔でした。豆腐は豆腐やさんの大きなタイル製のお風呂のような水の中に入っていてとってもきれいでした。その水の中の豆腐と、おじさんが慣れた手つきで柔らかな豆腐を少しも傷つけないでお客さんの器に入れるのを見るのが好きで、おつかいの帰りはいつも遅くなりました。

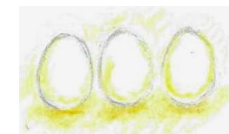
私は大切に家まで運びました。豆腐や卵が壊れやすいからでなく、農家さんが一日中お世話しても鶏は一日にひとつしか卵を生まないこと、豆腐やさんが朝自分が起きるよりずっと早くから手間をかけて豆腐を作っているのを知っていたから・・・。

今、卵や豆腐はプラスチックの容器に入ってたくさん重ねられています。手にとったときの思いが違います。日本は物質量だけ豊かになった気がします。

始めて「ヨアキム」を作った保育園の先生が嬉しそうに電話をくれました。「私の作ったお人形はみんな両手で抱っこするんです。今日は〇〇君がポケットからハンカチを出して、「寒くない？」ってお人形にかけてあげていたんですよ。」

大切に作られたものは大切にされます。

岩淵志温(福岡県北九州市在住)



スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

価格等の変更は、2007年6月1日より実施させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

☆ 「ぼんぼん鳥 つーくろっ！」のキットは、鳥の木型が2つ増えて、5羽分で1,000円に変更いたします。

☆ 「シルクの妖精」のマリオネットは、ピンクとクリーム色の組み合わせ一種類のみとなり、価格は2,650円になります。

☆ シルクの天使の価格は2,400円に変更いたします。

☆ 取り扱いキットのうち、「まりーちゃんとぱたぼん(モビール用7cm)」、「ファンタジーの馬」、「ぬいぐるみの動物用布セット」、「編みぐるみの抱き人形」は、在庫がなくなり次第、販売終了となります。

編集担当:佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥
スペース ベレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2
TEL/FAX 045-881-6900,6965
佐々木のアドリエ TEL/FAX 045-881-6708
相模総口(火)金 担当:寺田裕子045-881-7035